

日本臨床検査専門医会

平成 29 年度第一回常任幹事会議事録

平成 29 年 1 月 28 日

# 日本臨床検査専門医会

## 平成 29 年度 第一回常任幹事会議事録

開催日時：平成 29 年 1 月 28 日（土曜日）15 時 00 分～17 時 00 分

場 所：日本臨床検査専門医会事務所

出席者：登 勉 会長，東條 尚子 副会長，本田 孝行 副会長

木村 聡，佐藤 麻子，古川 泰司，宮崎 彩子，盛田 俊介，米川 修，

三宅 一徳 各常任幹事，佐守 友博 監事

欠席者：土屋 達行 常任幹事，高木 康 監事

事務局：市川 綾子，松葉 美知代

（敬称略）

定刻，登勉会長挨拶の後，議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

### 第 1 号議案 議事録署名人選任について

議長は，本会の議事録署名人の選出を議場に諮り，下記の 2 名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：木村 聡，佐藤 麻子 各常任幹事

### [報告事項]

#### 1. 各種委員会報告

##### ①情報・出版委員会

盛田俊介委員長より

衛生検査所協会「ラボ」の「専門医が教える検査値異常の判断法」の企画（福地先生担当）2 年分のタイトルがほぼ決まった。他の企画に関してはこれまで通りの担当分担で進めていく，との報告があった。

##### ②教育研修委員会

米川修委員長より以下の報告があった。

- ・春季大会時の生涯教育講演会は医療安全の観点から，講演 2 題を予定，司会は本田副会長と自身（米川委員長）とで担当。
- ・本年度の教育セミナー：5 月 21 日に古川常任幹事のご協力によりまして帝京大学霞ヶ関キャンパスで開催予定，教室の広さから受験資格のある方を中心に先着 40 名としたい，又パソコン等は専門医会での準備が必要，とのこと。  
セミナーの講習は昨年協力いただいた講師の皆さんに担当いただけることになって

いる。合格者体験談については今年も首都圏の合格者の中から、検査部所属の医師、検査部所属以外の医師、女性医師、を考えて3名（慶應大学江原医師、帝京大学横山医師、東京女子医大菅野医師）をお願いした。

#### ③資格審査・会則改定委員会

土屋達行委員長に代わり、三宅一徳庶務・会計幹事より、今年度の現在までの入会者2名、2016年末付退会者21名、所属変更の連絡が4名あった。

また、今年度の活動計画は、「新専門医制度の動向を見た上で、会則の改定点のリストアップと改定案の作成を目指す」と、報告があった。

#### ④渉外委員会

東條尚子委員長より以下の報告があった。

振興セミナーの企画立案とそれを成功させることが一番の目標。今年は7月21日にガーデンパレスで予定している。診療報酬改定の年ではないが、現在のところ昨年末の常任幹事会で報告したとおり、宮地医師、登会長、横地日臨技代表理事・副会長の講演を予定しており、3名の先生方には内諾はいただいた。細かな打ち合わせはこれから進めていく。

#### ⑤広報委員会

木村聡委員長より以下の報告があった。

- ・臨床検査医学会アドホック委員会との共同企画「研修医と医学生のためのハンズオンセミナー（仮称）」では、臨床検査とは実際にどんなことをするのか、ということや医学生や研修医に見てもらって自分の適性に合うかどうかを体験していただく、という目的で、8月の日曜日を使って、東大病院の検査部で実際にいろいろさわってもらったり見てもらったり、という企画が進んでいる。興味がある方がいたら、応募するよう勧めてほしい、ポスターを作っていずれ先生方に配信する予定。
- ・羊土社「レジデントノート」誌への連載については2年目分の原稿を集めているところ。委員で集まって話し合いをして直すところは直したり、メール会議等をしている。1月20日に打ち合わせを実施予定している。JACLaP NEWSを見るといろいろな人材がいると感じるので、書く人が固定化しないように皆さんに少しずつでも書いていただきたいと考えている。

#### ⑥保険点数委員会

古川泰司委員長より以下の報告があった。

9項目のコスト調査については、締切後も参加申し込みがあり、42施設の参加を

いただいた。今現在24施設から回答、締切後はいったんそこで集計結果を出し、それをもとに提案書を書く予定。

#### ⑦ネットワーク運営委員会

宮崎彩子委員長より以下の報告があった。

まだネットワークシステムにアクセスができない、という会員が多い、周知徹底が目標。JACLaP NEWSにネットワークの案内の記事を載せたり、専門医会ホームページのネットワーク入り口あたりに事務局宛のメールが開く仕様にしていく等対応を考えていきたい。春季大会や学術集会では、広報活動を計画中。

Q&Aの活性化のため、専門医を受験しようと考えている人にQを出してもらうために受験に関して質問できる領域ができたらい、Q&Aの活性化とともに、専門医会に入ってよかった、ということにつながるのではないかと、これらは今年検討していきたい。過去のQ&Aのアップ、各分野のリーダーの具体的な役割の確認等課題がある。また、専門医資格の申請・更新のための機能を充実させ、どの分野で何単位足りない、などがわかるようにしたい。今年度は追加したい機能を委員の中で相談して見積もりを業者に出してもらい、来年の予算に申請したいと考えている。

会員名簿機能として不十分なところや、賛助会員に役に立つコンテンツを取り込む等これから委員で具体案を考えていきたい。WEBページの管理者は当面は自身（宮崎委員長）と事務局で対応していきたい。

登会長より、パスワードの周知徹底、すぐにご自分のパスワードに変更してください、という案内が必要、また会員からのアクセス数も一度確認したい、と発言があった。

#### 2. 「全国検査と健康展」報告

佐藤麻子「全国検査と健康展」担当幹事より、検査と健康展への参加が新専門医制度の更新単位として認定された。また今年の実施にあたっては、協力医師から指摘のあった反省点を技師会とよく話し合っ、スムーズにいくように検討していきたい、と報告があった。

登会長より、昨日の日臨技の賀詞交歓会の際、全国検査と健康展の話も出た、今年には愛知県がメイン会場になるが、学術集会の日程と重なる会場もあるので佐藤麻子担当幹事とよく日程調整ほしい、と伝えた旨報告があった。

### 3. 臨床検査専門医・管理医審議会報告

(2016年度第3回, 2016年12月24日(土) 10:30~12:30 場所: 日本臨床検査医学会事務所)

三宅一徳庶務・会計幹事より, 以下1)~5)の報告があった。

#### 1) 研修施設・指導者認定委員会

2017年1月1日付 再認定では前回認定施設15施設のうち9施設が認定病院, 1施設が準認定, 2施設が教育関連特殊施設となった。3施設は認定申請がなかった。新規申請2施設のうち1施設が認定, 1施設が準認定, 前回教育関連特殊施設5施設のうち2施設が認定, 3施設が教育関連特殊施設となった。

#### 2) 受験・更新資格審査委員会

2017年1月1日付専門医更新者は76+初回更新17名。保留者9名。未提出5名。保留からの更新者6名。2017年1月1日付管理医更新者は45名。保留7名, 未提出は11名。

#### 3) 管理医の新規認定

専門医の管理医申請は25名。2016年度管理医試験合格者は21名。

#### 4) 試験委員会報告等について

2017年度専門医試験は2017年8月5, 6日, 杏林大学で実施予定。受験規定, 実施概要などの修正点が示された。本年度から今までの顕微鏡に変えてバーチャルスライド導入。事前にアナウンス予定。教育セミナーでもデモ的にやっていただいた方がよい。

2017年管理医認定試験は東京医科歯科大学(日程未定)

#### 5) 新専門医制度関連事項(学会2017年1月12日付けメールと同様)

- (1) 日本専門医機構 新整備指針: 研修プログラム制に加え研修カリキュラム制を可とする。
- (2) 臨床検査領域専門研修プログラム案について
- (3) 臨床検査専門医新更新基準: 2018年1月1日付の更新から導入  
単位認定のための講習会について  
2017年4月以降に開催される講習会は機構のルールに基づいて認定されるため基本的には(特に共通講習は)学会内の1次審査を終え, 機構の2次審査を受けて3か月前にHPで公開することが求められる。余裕をもった申請が必要。
- (4) 新専門医制度研修プログラム認定委員会, 新専門医制度更新資格審査委員会の設置

単位認定の申請は日本臨床検査医学会内の新専門医制度更新資格審査委員会へ。

登会長より、新専門医制度は厳格なものから大きく方向転換した印象がある旨発言があった。

4. 第 27 回（平成 29 年度）春季大会（熱海：大会長 〆谷直人先生）

三宅一徳庶務・会計幹事より、平成 29 年度第 27 回春季大会（〆谷 直人大会長，会期：2017 年 2 月 24 日（金）・25 日（土），会場：ホテルリゾーピア熱海）については、プログラムの変更は特にない旨報告があった。

5. 平成 29 年度会長・監事選挙について（選挙管理委員会内規）

三宅一徳庶務・会計幹事より、選挙管理委員は会長より 4 名（五十嵐岳先生，鯉淵晴美先生，〆谷直人先生，東田修二先生）任命があり，2 月 1 日に第 1 回選挙管理委員会開催予定，と報告があった。また，内規については一昨年と同様のものだが，この常任幹事会で承認いただけるのであれば，本日付で制定させていただきたい，旨発言があった。審議の結果平成 29 年 1 月 28 日付で制定（資料 1）となった。

6. 平成 29 年度行事予定

三宅一徳庶務会計幹事より，平成 29 年度年間行事予定について，教育セミナーの日程が 5 月 21 日に確定，その他は前回提示したものと変更なし，と報告があった。

**[審議事項]**

第 2 号議案 平成 28 年度決算について

三宅一徳庶務・会計幹事より，

本日 1 時より高木監事・佐守監事に監査をいただき，決算報告の書き方については項目の順番を変えるよう指摘を受け，修正した旨報告があり，その後資料 2 に基づいて以下説明があった。

収入については，会費収入は昨年は比較的納入率は良好だった，賛助会員については予算たての時点から減り現在 37 社，広告収入は昨年要覧を発行したのでその広告料が入り，予算を上回った，教育セミナーも多数の参加があり予算を上回る収入，生涯教育講演会・振興セミナーも多くの参加者があった。入金合計 11,094,757 円で，予算より 13 万ほど下回った。支出については，庶務経費では設備費があまり大きな支出がなかったので予算を大幅に下回った。そのほかはほぼ予算通り。事業経費は LabCP，NEWS も発行部数が予定より少なかったので印刷費，通信費については一部メール便にした，ということでこのところ予算を下回る支出になっている。振興セミナー費は昨

年度予算を増やしたが、支出をしぼったので抑えられた。教育セミナー費も抑えられた。会議費は昨年については例年より会議数が少なかったので経費は低くなっている、原稿料は LabCP は昨年は会員以外の先生に執筆依頼がなかったので0になっている、専門医ネットワーク開発費は、補正予算で承認されたものだが、最終的には予算より若干安くなっている、HP 維持費には広報委員会の新しい HP の契約料もいっしょにしているが、予算の範囲内で収まった、WASPaLM 会費は為替レート等の関係もあり、予算より低く収まった。予算外だったが ISO/TC212 第 22 回総会協賛金を拠出した。支出 10,694,622 円で収入より抑えられた。補正予算では赤字予算になる予定だったが、収支としては 40 万円程プラス、前年度繰越金 18,137,984 円、次年度繰越金 18,538,119 円となった。

会計決算報告書の読み上げのあと、本日高木、佐守両監事に監査をいただいた旨報告があった。

佐守監事より、平成 28 年度の日本臨床検査専門医会収支報告は監査の結果報告書に相違ないことを認めた旨報告があった。以上より、これを議場に諮ったところ全員異議なく可決した。

### 第 3 号議案 日本臨床検査専門医会ネットワーク活用の方策

議長より、委員会報告のところでの宮崎委員長からの提案のとおり、と発言があった。

### 第 4 号議案 医学部における臨床検査医学教育の現状調査について

本田副会長より、一度皆さんに案を見ていただいて、というところで止まっているが、最終案を常任幹事の方に送って OK であれば全医学部に出すようにする、と提案があり、議場に諮ったところ全員異議なく可決した。

登会長より、何年かおきに継続して調査することが必要になる、と発言があった。

### 第 5 号議案 本会の法人化について

登会長より、広告できる専門医になるためにはどのようにしていったらよいか、また企業、特に外資系企業からの寄付を受けるためには法人化された組織が必要ではないか、と提案があり、各幹事から法人化への条件等情報提供があった。費用面も含め、登会長を中心に検討していく方針となった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 30年 10月 30日

木村 聡

---

平成 30年 11月 7日

佐藤 麻子

---

## 日本臨床検査専門医会選挙管理委員会内規

1. 選挙管理委員会は会長ならびに監事の選挙に関する業務を統括する。
2. 選挙管理委員は会長任期満了年の年初に会長により若干名が任命される。
3. 選挙管理委員は選挙権を有するが、被選挙権は有さない。
4. 選挙管理委員会にはオブサーバーとして庶務・会計幹事が参加する。
5. 第1回選挙管理委員会は当該年度第1回総会以前に開催し、以下の事項を決定する。
  - 1) 互選により選挙管理委員長を選出する。
  - 2) 選挙日程（以下）
    - ・選挙予告日
    - ・推薦・立候補手続き開始（公示開始）日
    - ・推薦・立候補締切り（公示終了）日
    - ・会長所信表明締切日
    - ・投票開始日
    - ・投票締切り日
    - ・開票日
  - 3) 公示方法
  - 4) 選挙方式
    - ・投票方式
    - ・無効票判定の基準
5. 選挙管理委員長は4. で決定した事項を選挙規定として作成し、全国幹事会の承認を経て、当該年度第1回総会で報告する。
6. 選挙管理委員長は、会長ならびに監事の選挙終了後、速やかに日本臨床検査専門医会ホームページに選挙管理委員会名での公告を掲載し、これを以て会員への公式な結果報告とする。
7. 本内規の変更は常任幹事会の承認を得て行う。

（下線部は会則に基づく事項）

平成 29 年 1 月 28 日制定

## 平成28年度 決算報告

平成28年	項目	予算額	決算額	予算と決算の差		
収入	会費	会員会費	6,475,000	6,190,000	-285,000	
		賛助会員会費・寄付金	4,000,000	3,700,000	-300,000	
		小計	10,475,000	9,890,000	-585,000	
	その他	広告収入	200,000	420,430	220,430	
		教育セミナー参加費	350,000	470,000	120,000	
		生涯教育講演会参加費	100,000	172,000	72,000	
		振興セミナー参加費	100,000	140,000	40,000	
		利息	5,000	2,327	-2,673	
		小計	755,000	1,204,757	449,757	
	入金合計		11,230,000	11,094,757	-135,243	
支出	庶務経費	事務所維持費	1,700,000	1,723,582	23,582	
		人件費	1,500,000	1,487,380	-12,620	
		設備費	150,000	1,430	-148,570	
		電話・FAX使用料	60,000	55,751	-4,249	
		通信費(事務局)	170,000	150,051	-19,949	
		事務局雑費	150,000	142,615	-7,385	
		小計	3,730,000	3,560,809	-169,191	
	事業経費	印刷代	2,000,000	1,568,755	-431,245	
		要覧印刷代	550,000	551,880	1,880	
		通信費	800,000	552,582	-247,418	
		春季大会補助金	500,000	500,000	0	
		臨床検査振興セミナー費	950,000	798,253	-151,747	
		教育セミナー費	750,000	574,050	-175,950	
		会議費	1,000,000	799,193	-200,807	
		交通費	70,000	96,510	26,510	
		宿泊費	20,000	32,000	12,000	
		原稿料	100,000	0	-100,000	
		専門医ネットワーク開発費	864,000	858,060	-5,940	
		HP維持費(広報HP含む)	170,000	170,838	838	
		JCCLS会費	50,000	50,000	0	
		WASPALM会費	60,000	51,692	-8,308	
		臨床検査振興協議会	300,000	300,000	0	
		内保連	200,000	200,000	0	
		ISO/TC212第22回総会協賛金	0	30,000	30,000	
		小計	8,384,000	7,133,813	-1,250,187	
		出金合計		12,114,000	10,694,622	-1,419,378
		収支決算			400,135	
		前年度繰越金			18,137,984	
		次年度繰越金			18,538,119	